

早稲田大学 大学院政治学研究科



<目次>

1. 政治学研究科概要	1
2. コース別概要	1
(1). 政治学コース	1
(2). ジャーナリズムコース	2
(3). 国際政治経済学コース	3
3. 定員と学位について	3
4. 修士課程の修了要件	4
5. ジャーナリズムコースの科目履修方法	5
6. 国際政治経済学コースの出願研究科の選択方法および履修方法	9
7. コース別カリキュラム(予定)	12
(1). 政治学コース	12
(2). ジャーナリズムコース	17
(2)-1. ジャーナリズムコース	17
(2)-2. 科学技術ジャーナリスト養成プログラム	22
(3). 国際政治経済学コース	25

2008年2月

本案内パンフレットは暫定版であり、今後変更の可能性があります。

1. 政治学研究科概要

本研究科では、古代ギリシアの政治哲学から、20世紀後半にアメリカで発展した現代政治学までの歴史をふまえ、国際的に最も標準的で、かつ21世紀において新たな展開を見通すことのできる先進的な政治学の研究と教育をめざしています。

また、本研究科では、それぞれの専門分野を横断してその枠組みを超えてゆく視座と研究も大切にしています。そのために全ての学生に、統計分析などを含む経験的方法、ゲーム理論などの数理分析、さらには多様な価値規範の観点から政治をみる規範理論の3つを学ぶことを勧めています。これらはあらゆる研究の基礎になるとともに、国際的な発信のための創造的研究を生み出すものだからです。

2008年4月1日より、本研究科政治学専攻にコース制を導入し、従来の政治学専攻を「政治学コース」とし、新たに「ジャーナリズムコース」ならびに「国際政治経済学コース」を設置します。政治学コースは従来どおり修士(政治学)、ジャーナリズムコースでは修士(ジャーナリズム)、国際政治経済学コースでは修士(国際政治経済学)の学位をそれぞれ授与します。なお、国際政治経済学コースは政治学研究科と経済学研究科との共通設置とし、両研究科の修士課程に設置されます。また、2006年度より科学技術ジャーナリストの養成をめざして展開している「科学技術ジャーナリスト養成プログラム」は、本学の恒久的な人材育成システムとして確立するため、新設のジャーナリズムコースに統合します。

2. コース別概要

(1) 政治学コース

5つの研究領域に分かれて政治学を専門的に深くかつ総合的に幅広く学ぶことができる教育・研究システムを確立しています。

①現代政治研究領域

現代政治学の諸理論の探求と現代日本政治の分析を行います。その中にはメディアやコミュニケーションの理論と分析も含まれます。

②政治思想研究領域

古代から近代までの政治思想史研究と現代の規範的政治理論や政治哲学の探求を行います。大きな特徴は、政治思想に密着した憲法も同時に学ぶことです。

③比較政治研究領域

地域研究や比較政治研究と日本および西洋の政治史を学びます。アジアの中の日本という視座をもって日本と世界の政治の現在を比較し、歴史社会学の方法で探求しています。

④国際関係研究領域

国際政治、国際関係論、国際政治史、外交史を専門として、国際関係の理論や歴史を学び、現代の国際関係の分析を行います。国際関係をグローバルな視座でとらえ、歴史的、思想的、理論的に探求していく研究方法が特徴です。

⑤公共政策研究領域

行政学、自治行政学、国際行政学などを通じて、ローカルからグローバルなレベルにわたって、行政の理論や政策の分析を、行政法、政治機構・制度などの研究とも関連させながら探求します。

(2) ジャーナリズムコース

プロフェッショナルとして倫理、知識、技術において実践的な人材であるだけでなく、専門的知識と社会市民の間に相互関係を作り上げる公共的コミュニケーションの担い手として卓越した高度専門職業人としてのジャーナリストの養成をめざします。本コースにおいて「科学技術ジャーナリスト養成プログラム」を引き続き実施します。

〈ジャーナリズムコース設置の趣旨〉

(1) 政治学研究科が、2005年度より実施している科学技術ジャーナリスト養成プログラムは、日本初の、そして日本で唯一の学位を授与するジャーナリスト養成の大学院教育です。本研究科では、この意義をさらに確固にするため、日本で初めて「ジャーナリズム」の学位を授与し得るジャーナリズムコースを、2008年4月より新たに開講します。

(2) 政治学研究科は、これまで多くの優れたジャーナリストを輩出してきました。本研究科では、そうした伝統に甘んずることなく、また国際的見地から最も先進的なジャーナリズム教育プログラムを遂行します。それは、①政治経済をはじめとする幅広い専門知識の習得、②ジャーナリズムやメディアの役割に関する深い洞察、③批判的思考能力、④プロフェッショナルなコミュニケーション能力、⑤フィールドに基づく経験、という5つのプリンシプルに集約されるものです。

(3) 今、真に求められているジャーナリストは、プロフェッショナルとして倫理、知識、技能において真に実践的な人材であるだけでなく、専門的知識と市民社会の間に相互関係を作り上げる公共的コミュニケーションの担い手として、専門性においても卓越していなければなりません。政治や経済、国際関係と科学技術という現代の最も重要な問題を最先端の接点で捉えられる鋭敏なジャーナリストの養成は、本研究科に期待される焦眉の課題です。専門研究や研究者養成を切り離すことなく、高度専門職業人としてのジャーナリストの養成を目指す本コースは、アカデミズム（専門知）とジャーナリズムの出会いの場であり、こうした場の創造を通して、本研究科は新たなジャーナリズムの形成とジャーナリストの育成に寄与し、グローバルな公共圏の開拓に貢献します。

〈科学技術ジャーナリスト養成プログラム〉

(1) 本プログラムは、早稲田大学大学院政治学研究科の新たな挑戦です。政治学研究科は、これまで多くの優れたジャーナリストを輩出してきました。本プログラムがその伝統と実績に立つものであることは言うまでもありません。しかし同時に、このプログラムは国際的に見ても最も先進的な試みとなるよう、設置にあたっては徹底した海外リサーチを行い、いま真に求められている専門ジャーナリストとは何かを考えることから始めました。そのコンセプトに基づき、私たちは、プロフェッショナルなジャーナリストとして、倫理、知識、技能において真に実践的な人材の育成を目指すとともに、科学技術の学問的知識の世界と一般社会との間の相互関係を作り上げる公共的コミュニケーションの担い手たるジャーナリストとして、専門性においても卓越した人材の育成を目指します。

(2) 本プログラムはこれまでになかった本当の意味での学際的な教育プログラムへの挑戦です。これが文部科学省科学技術振興調整費による新興分野人材育成プログラムの一つとして実施されるというまさにそのことが、科学技術を専門とするジャーナリストが、現代社会において多く求められているにもかかわらず、現実にはその社会的ニーズを満たすにはきわめて少ないことを物語っています。そうした現状は、ジャーナリスト養成が真に学際的な事業であるという困難さからもたらされてきました。ジャーナリズムという、社会科学・人文科学系のなかでも複合・応用的な学問分野と、自然科学・技術に関する研究を学際的にしっかりと結びつけるプロジェクトは、まさしく「マスター・サイエンス」としての政治学を探究する政治学研究科だからこそ実現できました。私たちは、現代社会と科学技術という現代の最も重要な問題を、最先端の接点で捉えることができる鋭敏なジャーナリストの養成を目指します。

(3) 国際政治経済学コース

国際性を身につけて社会のさまざまな分野で活躍しようとする学生に対して、より高度専門性を形成する機会を提供し、真にグローバル・ヴィジョンをもつ人材を育成します。なお、本コースは政治学研究科・経済学研究科修士課程の共通コースとしてそれぞれに設置され、政治学研究科と経済学研究科が共同で運営し、「国際政治経済学」という新しい研究・教育分野の創造的展開をめざします。

<国際政治経済学コース設置の趣旨>

- (1) 政治経済学部は、政治と経済の分ちがたい相互関連を国際的な視野において分析・理解しながら、規範的なパースペクティブから実行可能な政策を検討・構想しうる力を育てるという教育理念にもとづいて、2004年度に国際政治経済学科を新設しました。2008年3月には最初の卒業生を送り出しますが、大学院において、上記の理念をさらに発展させた高度の教育・研究の機会を提供することはわたくしたちの重要な責務であると考えます。
- (2) 国際政治経済学は、他の大学院にはほとんど類例のない先進的な学問分野であり、本コースは、この分野に関わる政治経済学術院の優位性を生かし、先端的な教育・研究を推進します。
- (3) 本コースは、政治学研究科および経済学研究科のそれぞれの修士課程に設置するため、修士課程を修了した学生には、それぞれの研究科の博士後期課程に進学し、自らの研究を深めていく途が開かれます。
- (4) 国際政治経済学コースは、国際性を身につけて社会のさまざまな分野で活躍しようとする学生に対して、より高度の専門性を形成する機会を提供し、真にグローバル・ヴィジョンを持つ人材の育成に寄与することを目指します。
- (5) 本コースの研究指導・演習を合同で実施し、基礎科目・コア科目を政治学研究科と経済学研究科で共通設置します。

3. 定員と学位について

政治学研究科のコースごとの定員および学位名称は、以下のようになります。

	修士課程		博士後期課程	
	入学定員	学位	入学定員	学位
政治学コース	40	修士（政治学）	20	博士（政治学）
国際政治経済学コース	10	修士（国際政治経済学）	-	
ジャーナリズムコース	40	修士（ジャーナリズム）	若干名	博士（ジャーナリズム）予定

- (1) 「政治学コース」は、現行の政治学専攻をそのまま引き継ぐ。
- (2) 「ジャーナリズムコース」修士課程の入学定員には、「科学技術ジャーナリスト養成プログラム」の入学定員15名を含む。
- (3) 「ジャーナリズムコース」博士課程は、2010年設置を目指しています。

4. 修士課程の修了要件

各コースの科目区分別所定単位数および履修規則に定められた基準に従い 32 単位以上(社会人入試による入学者は 30 単位以上)の単位修得と修士論文の審査に合格することが必要です。

〈2008年度政治学専攻**政治学コース**入学者〉

科目区分				修了に必要な所定単位数	
				一般（注1）	社会人（注2）
政治 研究 科 設置 科目	共通基礎科目	方法論科目	必修科目	6 単位	
		方法論科目	選択科目	0 単位以上	
		基礎研究科目		2 単位以上	0 単位以上
		知識情報・リテラシー科目		0 単位以上	
	演習科目		8 単位以上	8 単位以上（注3）	
	専門研究科目		4 単位以上（注4）		
	国際政治経済学コース・コア科目		0 単位以上		
	ジャーナリズムコース・コア科目	ジャーナリズム・メディア研究	0 単位以上		
	専門分野	理論部門			
科学技術ジャーナリスト養成プログラム・コア科目		基礎部門	0 単位以上		
		イシュー領域			
その他	大学院共通設置科目			0 単位以上	
	他研究科聴講科目			0 単位以上	
	政治学専門基礎科目（政治経済学部設置科目）			0 単位以上	
	単位認定			0～16 単位	
修了に必要な合計単位数				32 単位以上	30 単位以上

（注1）推薦入試、一般入試、外国人留学生入試による入学者。

（注2）社会人入試による入学者。

（注3）政治学研究科運営委員会が特に優秀と認めた場合は4単位で足りるものとする。

（注4）博士後期課程に進学する者は、博士後期課程1年生終了時点までに所属する研究領域以外の「専門研究科目」6単位を履修しなければならない。

■各コースの社会人入試による入学者には、1年間の早期修了制度があります。詳しくは事務所にお問い合わせ下さい。

■〈政治学コース〉と〈国際政治経済学コース〉では、留学生のために、すべて英語の授業により修了要件単位を履修できるプログラムの整備を進めています。

〈国際政治経済学コース〉および〈ジャーナリズムコース〉〈科学技術ジャーナリスト養成プログラム〉の修了要件は、それぞれの科目履修方法の説明の後ろの表を見てください。

5. ジャーナリズムコースの科目履修方法

修士課程修了には、以下の1～4の合計で32単位以上の修得が必要です。下記および次ページの表を参考にしてください。

1). 研究指導・演習

研究指導には単位はありません。複数教員による合同研究指導方式をとり、修士論文の研究計画や執筆経過を発表する合同演習を適時実施します。研究指導を補うものとして演習科目は、在学期間中に「ジャーナリズム・メディア研究セミナー」、「ジャーナリズム・メディア研究演習」、「専門演習」のいずれかから合計4単位以上修得する必要があります。

2). 共通基礎科目

共通基礎科目のうち「方法論科目（経験的方法）」から2単位以上、「方法論科目（規範理論）」から2単位以上、計4単位以上修得してください。

3). コア理論科目

「ジャーナリズム・メディア研究」と「専門分野」から、あわせて4単位以上修得してください。

4). コア実践科目

「インターンシップ」2単位以上と「ジャーナリズム実習」および「メディア制作実習」から、あわせて4単位以上修得してください。なお、社会人入試による学生で、早期修了対象者は、「専門分野・実践部門」の修了に必要な所定単位は0単位です。

<2008年度ジャーナリズムコース入学者>

科目区分			修了に必要な所定単位数				
			一般	社会人	副専攻		
■政治学研究科共通設置科目							
共通基礎科目	方法論科目（ジャーナリズム）	経験的方法	2	2	2		
		規範理論	2	2	2		
	知識情報リテラシー科目		0	0	0		
	基礎研究科目		0	0	0		
■ジャーナリズムコース設置科目							
コア科目	演習科目	ジャーナリズム・メディア研究セミナー		4	4	4	
		ジャーナリズム・メディア研究演習					
		専門演習					
	理論科目	ジャーナリズム・メディア研究		4	4	4	
		専門分野	政治分野				
			国際分野				
			経済分野				
			社会分野				
	文化分野						
	実践科目	インターンシップ		2	0	0	
		ジャーナリズム実習		4	0	4	
メディア制作実習		0	0				
■その他の政治学研究科設置科目							
科学技術ジャーナリスト養成プログラム・コア科目（基礎部門、イシュー領域）			0	0	0		
政治学コース専門科目			0	0	0		
国際政治経済学コース・コア科目			0	0	0		
■その他							
政治経済学部設置科目・その他学部設置認定科目（基礎科目）			0	0			
大学院共通設置科目			0	0			
他研究科聴講			0～10	0～10			
単位認定			0～16	0～16			
修了に必要な合計単位数／副専攻プログラム修了に必要な単位数			32	30	16		

- ・単位数は、他研究科聴講、単位認定を除いて、いずれも所定単位数がその数以上であることをしめす。
- ・「副専攻」は予定。

ジャーナリズムコースの5つのコンセプトと学科目概要			
批判的思考力			
共通基礎科目	方法論科目	客観的な認識、公共的な精神をはぐくむ基礎科目をおく。	
ジャーナリズム・メディアへの洞察			
コア科目	演習科目	ジャーナリズム・メディア研究セミナー	アカデミズムとジャーナリズムの出会い場を創造する。
		ジャーナリズム・メディア研究演習	担当教員別の専門的な演習。
	理論科目	ジャーナリズムおよびメディアに関する分析、理論、思想、歴史に関する科目。マス・コミュニケーション全般を基盤として踏まえる。	
専門知=専門分野についての科学的知識と哲学の理解			
コア科目	演習科目	専門演習	担当教員別の専門的な演習。
	理論科目	政治分野	とくに本コースに不可欠である実践的に定位された政治学、国際関係への導入科目と、政治学研究科政治学コースおよび国際政治経済学コースとの共通開講科目で構成する。
		国際分野	
		経済分野	経済学研究科の協力を得て、とくに本コースに不可欠である実践的に定位された経済学への導入科目と、経済学研究科および政治学研究科国際政治経済学コースとの共通開講科目で構成する。
		社会分野	公共性と人権を基盤に、現代社会における最重要の現実的諸問題にアプローチする科目を、学内の当該分野専門の教員の協力を得て設置する。
		文化分野	アジアと日本の文化にフォーカスした諸科目を、政経学術院の当該分野専門の教員を中心として、全学の関連教員の協力を得て設置。メディア文化論、カルチュラル・スタディーズを包含する。
		総合研究	上記5分野および科学技術ジャーナリスト養成プログラムの垣根を越えて、先端的な総合的問題に学際的にアプローチする科目を設置する。現代政治経済研究所の特別部会等の研究活動を基盤とする。
プロフェッショナルな取材・表現力			
共通基礎科目	知識情報リテラシー科目	国際的コミュニケーションスキルやメディア・リテラシーを養成する。	
コア科目	実践科目	ジャーナリズム実習	取材・執筆の基本やジャーナリストの使命と倫理を実践的に学ぶ。文章表現の講座も用意する。
		メディア制作実習	映像やウェブ、出版物などメディアごとの実践的なスキルを作品制作を通じて習得する。
現場主義=フィールドに基づく経験			
コア科目	実践科目	インターンシップ	メディア企業やその他のフィールドで、じかに物事を見聞きし、現場に根ざした視点を養成する。

科学技術ジャーナリスト養成プログラム学科目区分と修了に必要な所定単位数
 <2008年度科学技術ジャーナリスト養成プログラム入学者>

科目区分		所定単位数		
政治学研究科共通 基礎科目	方法論科目	0単位以上		
	知識情報・リテラシー科目	2単位以上		
	基礎研究科目	0単位以上		
ジャーナリズムコ ース・コア科目 (科学技術ジャー ナリスト養成プロ グラム科目を含む)	理論科目	ジャーナリズム・メディア研究	4単位以上	
科学技術ジャーナ リスト養成プログ ラム科目	演習科目	ジャーナリズム論演習	2単位以上	
		科学技術論演習	2単位以上	
	理論科目	基礎部門	4単位以上	
		イシュー領域	4単位以上	
	実践部門	インターンシップ	2単位(注1)	
		科学コミュニケーション実習	4単位以上	
		メディア制作実習		
	基礎知識獲得 支援科目	政治学専門基礎科目		0単位以上
		自然科学基礎知識	自然科学概論1～3	4単位以上 (注3)
			政治経済学部設置科目	
教育学部設置科目(注2)				
ジャーナリズムコ ース・コア科目	理論科目	専門分野(政治・国際・経済・社会・文化・総合)	0単位以上	
政治学コース専門科目		0単位以上		
国際政治経済学コース科目(注4)		0単位以上		
その他	大学院共通設置科目		0単位以上	
	他研究科聴講		0単位以上	
	単位認定		0～16単位	
修了に必用な合計単位数		32単位		

- (注1) 学生の経験等により免除することがある。ただし、その場合も修了に必要な単位数の合計は変わらない。
 (注2) 教育学部設置科目の履修にあたっては、別途実習費等の納入が必要な場合があります。
 (注3) 学生の専門領域によっては修了要件単位として算入しない場合がある。また、学生の学歴等により免除申請がなされ、それが認められた場合免除することがある。
 (注4) インターンシップを除く。

6. 国際政治経済学コースの出願研究科の選択方法および科目履修方法

(1) 出願する研究科の選択方法

2008 年度より、政治学研究科と経済学研究科のそれぞれに国際政治経済学コースが設置されますが、研究科選択については以下をひとつの参考としてください。
政治学と経済学でどちらをより中心に履修していきたいかが研究科選択の際の最重要事項ですが、それと同時に履修を希望する演習の担当教員（指導教員）が所属する研究科がどちらかという点も検討材料としてください。研究指導は両研究科合同で実施されますが、演習については各研究科で担当教員別を実施する予定となるためです。なお、演習は、経済学研究科の「応用演習」を除き、所定外単位として自己の指導教員以外の演習科目も同時履修することが可能です。

(2) 国際政治経済学コースの科目履修方法について

修士課程修了には、以下の 1～4 の合計で 32 単位以上の修得が必要です。下記および次ページの表を参考にしてください。

1). 研究指導・演習

演習科目は、在学期間中に合計 8 単位修得する必要があります。研究指導には単位はありませんが、複数教員による合同指導形式を採り、修士論文の研究計画や執筆経過の発表（年 3～4 回程度）を行ないます（早期修了対象者の演習所定単位数は異なります。詳細は事務所までお問い合わせください）。

2). 共通基礎科目

共通基礎科目のうち「必修科目」8 単位は必ず単位修得してください。選択科目は、指導教員の科目選択指導にもとづいて履修してください。

3). コア科目

政治学研究科主管科目および経済学研究科主管科目から、あわせて 12 単位以上の修得が必要です。

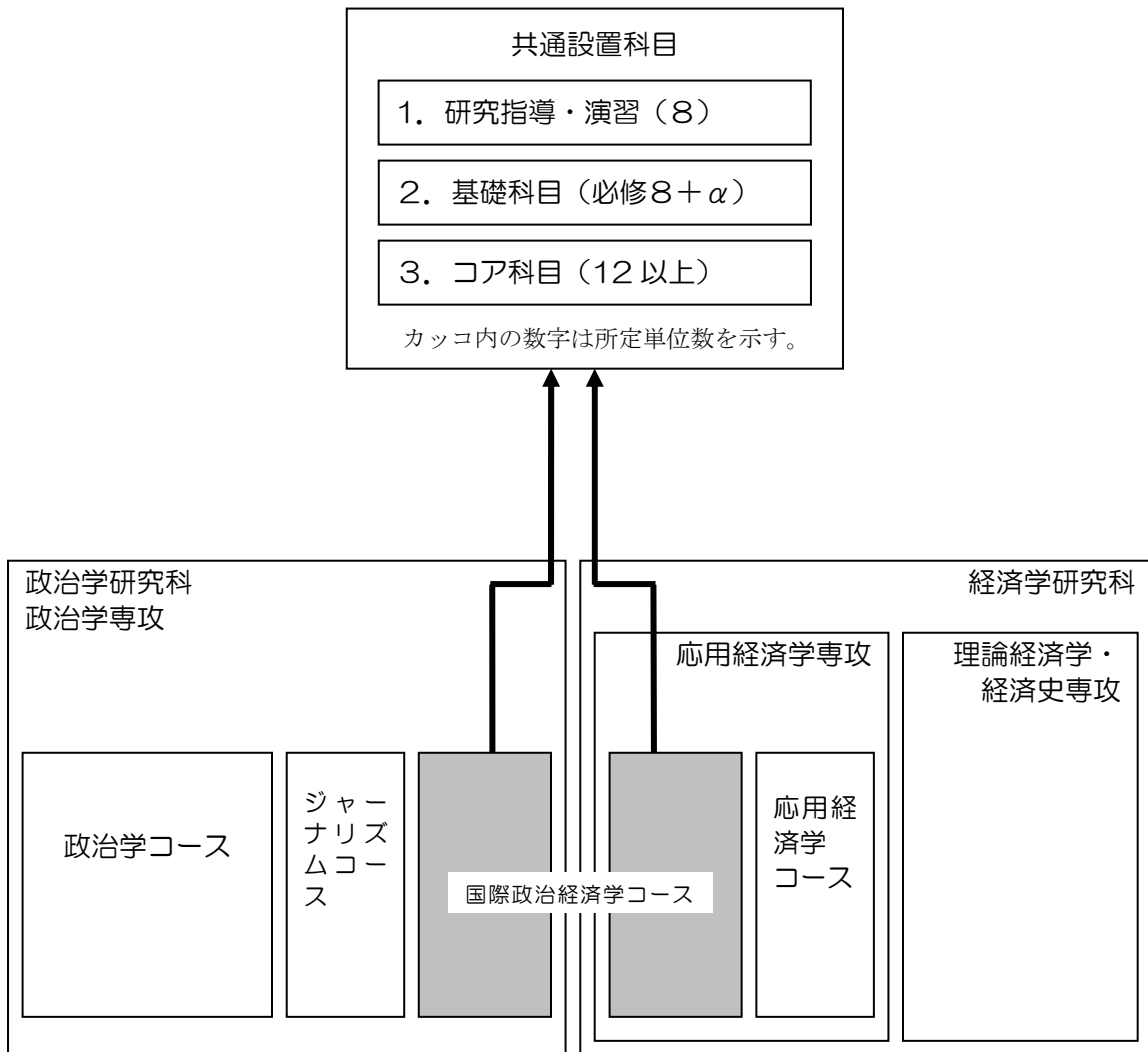
4). その他

経済学研究科の設置科目（政治学研究科・経済学研究科の共同設置科目以外）および他研究科設置科目・経済経済学部設置科目から、あわせて 10 単位まで修了要件単位に算入することが可能です。

<2008 年度国際政治経済学コース入学者>

科目区分		修了に必要な所定単位数	
		一般(注1)	社会人(注2)
■政治学研究科・経済学研究科共通設置国際政治経済学コース科目			
共通基礎科目	必修科目	8 単位	
	選択科目	0 単位以上	
演習科目		8 単位以上	8 単位以上(注3)
コア科目		12 単位以上	
■政治学研究科設置科目			
共通基礎科目	方法論科目	0 単位以上	
	知識情報・リテラシー科目	0 単位以上	
政治学コース専門科目		0 単位以上	
ジャーナリズムコース・コア科目	ジャーナリズム・メディア研究	0 単位以上	
	専門分野 理論部門		
科学技術ジャーナリスト養成プログラム・コア科目	基礎部門	0 単位以上	
	イシュー領域		
■その他			
大学院共通設置科目		0 単位以上	
他研究科聴講科目		0 単位以上	
政治学専門基礎科目(政治経済学部設置科目)		0 単位以上	
単位認定		0～16 単位	
修了に必要な合計単位数		32 単位以上	30 単位以上

政治学研究科・経済学研究科
国際政治経済学コース



7. コース別カリキュラム(予定)

(1)政治学コース ※2007年度政治学専攻(5研究領域)の配当科目を参考までに掲載しています。

○研究指導(合同指導)

研究領域	研究指導名	学期	担当教員	備考
現代政治	現代政治研究指導	通	教授 河野 勝	
		通	教授 久米 郁男	
		通	教授 田中 愛治	
		通	教授 眞柄 秀子	
		通	教授 吉野 孝	
		通	教授 谷藤 悦史	
		通	教授 山本 武利	
政治思想	政治思想研究指導	通	教授 飯島 昇藏	
		通	教授 齋藤 純一	
		通	教授 佐藤 正志	
		通	教授 川岸 令和	
		通	教授 渡辺 重範	
比較政治	比較政治研究指導	通	教授 伊東 孝之	
		通	教授 坪井 善明	
		通	教授 毛里 和子	
		通	教授 堀 真清	
		通	教授 梅森 直之	
		通	教授 仲内 英三	
		通	教授 山崎 眞次	
国際関係	国際関係研究指導	通	教授 山本 武彦	
		通	教授 平野健一郎	
		通	准教授 中村 英俊	
		通	教授 田中 孝彦	
		通	教授 都丸 潤子	
公共政策	公共政策研究指導	通	教授 縣 公一郎	
		通	教授 藤井 浩司	
		通	教授 福田 耕治	
		通	教授 寄本 勝美	
		通	教授 石田 光義	
		通	教授 大浜 啓吉	

○授業科目

演習科目

研究領域	科目名	単位	学期	担当教員	備考
現代政治	現代政治分析演習(前期)	2	前	教授 河野 勝	
	現代政治分析演習(後期)	2	後	教授 河野 勝	
	現代日本政治分析演習(前期)	2	前	教授 久米 郁男	
	現代日本政治分析演習(後期)	2	後	教授 久米 郁男	
	現代日本政治分析演習(前期)	2	前	教授 田中 愛治	
	現代日本政治分析演習(後期)	2	後	教授 田中 愛治	
	現代比較政治分析演習(前期)	2	前	教授 眞柄 秀子	
	現代比較政治分析演習(後期)	2	後	教授 眞柄 秀子	
	現代政治学演習(前期)	2	前	教授 吉野 孝	
	現代政治学演習(後期)	2	後	教授 吉野 孝	
	マス・コミュニケーション演習(前期)	2	前	教授 谷藤 悦史	
	マス・コミュニケーション演習(後期)	2	後	教授 谷藤 悦史	
	ジャーナリズム研究演習(前期)	2	前	教授 山本 武利	
	ジャーナリズム研究演習(後期)	2	前	教授 山本 武利	

政治思想	政治哲学演習（前期）	2	前	教授	飯島 昇藏	
	政治哲学演習（後期）	2	後	教授	飯島 昇藏	
	現代政治理論演習（前期）	2	前	教授	齋藤 純一	
	現代政治理論演習（後期）	2	後	教授	齋藤 純一	
	政治思想史演習（前期）	2	前	教授	佐藤 正志	
	政治思想史演習（後期）	2	後	教授	佐藤 正志	
	現代政治理論演習（前期）	2	前	准教授	谷澤 正嗣	注 1
	現代政治理論演習（後期）	2	後	准教授	谷澤 正嗣	注 1
	憲法演習（前期）	2	前	教授	川岸 令和	
	憲法演習（後期）	2	後	教授	川岸 令和	
	憲法演習（前期）	2	前	教授	渡辺 重範	
	憲法演習（後期）	2	後	教授	渡辺 重範	
	比較政治	比較政治演習（前期）	2	前	教授	伊東 孝之
比較政治演習（後期）		2	後	教授	伊東 孝之	
地域研究演習（前期）		2	前	教授	坪井 善明	
地域研究演習（後期）		2	後	教授	坪井 善明	
ラテンアメリカ研究演習(前期)		2	前	教授	山崎 眞次	
ラテンアメリカ研究演習(後期)		2	後	教授	山崎 眞次	
現代アジア政治研究演習（前期）		2	前	教授	毛里 和子	
現代アジア政治研究演習（後期）		2	後	教授	毛里 和子	
日本政治史演習（前期）		2	前	教授	堀 真清	
日本政治史演習（後期）		2	後	教授	堀 真清	
日本政治思想史演習（前期）		2	前	教授	梅森 直之	
日本政治思想史演習（後期）		2	後	教授	梅森 直之	
西洋政治史演習（前期）		2	前	教授	仲内 英三	
西洋政治史演習（後期）		2	後	教授	仲内 英三	
国際関係	国際政治演習（前期）	2	前	教授	山本 武彦	
	国際政治演習（後期）	2	後	教授	山本 武彦	
	国際政治演習（前期）	2	前	准教授	中村 英俊	
	国際政治演習（後期）	2	後	准教授	中村 英俊	
	国際関係演習（前期）	2	前	教授	平野健一郎	
	国際関係演習（後期）	2	後	教授	平野健一郎	
	国際関係演習(前期)	2	前	教授	都丸 潤子	
	国際関係演習(後期)	2	後	教授	都丸 潤子	
	国際関係史演習(前期)	2	前	教授	田中 孝彦	
	国際関係史演習(後期)	2	後	教授	田中 孝彦	
公共政策	行政学演習（前期）	2	前	教授	縣 公一郎	
	行政学演習（後期）	2	後	教授	縣 公一郎	
	福祉行政演習（前期）	2	前	教授	藤井 浩司	
	福祉行政演習（後期）	2	後	教授	藤井 浩司	
	国際機構行政演習（前期）	2	前	教授	福田 耕治	
	国際機構行政演習（後期）	2	後	教授	福田 耕治	
	自治行政演習（前期）	2	前	教授	寄本 勝美	
	自治行政演習（後期）	2	後	教授	寄本 勝美	
	比較政治制度演習（前期）	2	前	教授	石田 光義	
	比較政治制度演習（後期）	2	後	教授	石田 光義	
	行政法演習（前期）	2	前	教授	大浜 啓吉	
	行政法演習（後期）	2	後	教授	大浜 啓吉	

注 1) 2007 年度休講。

共通基礎科目

区分		科目名	単位	学期	担当教員	備考
方法論科目	必修	政治学研究方法（経験）	2	前	教授 久米 郁男	
		政治学研究方法（規範）	2	前	教授 齋藤 純一	
		政治学研究方法（数理分析）	2	前	教授 河野 勝	
	選択	方法論セミナー（経験）	2	夏	教授 久米 郁男	
		方法論セミナー（規範）	2	夏	教授 齋藤 純一	
		方法論セミナー（数理分析）	2	夏	教授 河野 勝	
基礎研究科目	（注1）	政治学英語文献研究A	2	後	講師 池谷 知明	
		政治学英語文献研究B	2	後	教授 今村 浩	
		政治学英語文献研究C	2	前	教授 佐藤 正志	
		政治学英語文献研究D	2	後	講師 中金 聡	
		政治学英語文献研究E	2	後	講師 齊藤小百合	
		政治学英語文献研究F	2	前	教授 坪井 善明	
		政治学英語文献研究G	2	後	講師 山本 吉宣	
		政治学英語文献研究H	2	後	教授 都丸 潤子	
		政治学英語文献研究I	2	後	講師 小林 真理	
		政治学フランス語文献研究A	2	前	准教授 片岡 貞治	
		政治学フランス語文献研究B	2	後	講師 押村 高	
		政治学ドイツ語文献研究A	2	後	教授 伊東 孝之	
		政治学ドイツ語文献研究B	2	前	教授 縣 公一郎	
		政治学スペイン語文献研究	2	前	教授 山崎 眞次	
		政治学中国語文献研究A	2	後	教授 齊藤 泰治	注2
		政治学中国語文献研究B	2	前	助教 楊 志輝	注2
知識情報・リテラシー科目		論文作成入門	2	前	教授 吉野 孝	注2
		情報発信実習	2	前	助教 前野 譲二	注2
		英語ライティング [*] (アカデミック)	2	前	教授 マーク・シユエル	注3
		英語プレゼンテーション(アカデミック)	2	後	教授 A・ニューエル	注3
		英語ライティング [*] 入門(ジャーナリズム)	2	前	講師 石塚 雅彦	注4
		英語ライティング [*] 実習(ジャーナリズム)	2	後	講師 石塚 雅彦	注4

注1) 2006年度 政治学特殊研究からの名称変更

注2) 2007年度新設科目

注3) 「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」からの名称変更。「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」の単位取得の場合には履修できません。

注4) 「英語による情報発信」「情報発信実習（英語）」からの名称変更。「英語による情報発信」「情報発信実習（英語）」の単位取得の場合には履修できません。

専門研究科目

研究領域	科目名	単位	学期	担当教員	備考
現代政治	現代政治学	2	後	教授 吉野 孝	注5
	比較政治理論	2	後	教授 眞柄 秀子	
	政治経済学	2	—	休 講	
	現代政治分析モデル	2	—	休 講	
	政治行動論	2	前	教授 田中 愛治	
	現代政治研究	2	—	休 講	
	政治コミュニケーション	2	—	休 講	
	政治宣伝	2	前	教授 山本 武利	
	ジャーナリズム史	2	—	休 講	
	世論研究	2	前	教授 谷藤 悦史	
政治思想	政治思想史	2	後	教授 佐藤 正志	
	現代政治思想	2	後	教授 飯島 昇藏	
	現代政治哲学	2	後	講師 引田 隆也	
	政治思想研究A	2	後	教授 松本 礼二	
	政治思想研究B	2	前	講師 山田 正行	
	憲法	2	前	教授 渡辺 重範	
	憲法理論	2	後	教授 川岸 令和	
	比較憲法	2	—	休 講	

比較政治	東南アジア政治	2	後	教授	坪井 善明	
	民主化研究	2	前	教授	伊東 孝之	
	東アジア政治	2	前	教授	毛里 和子	注 6
	旧ソ連地域政治	2	後	講師	下斗米伸夫	
	比較政治研究 A	2	—	休	講	
	比較政治研究 B	2	—	休	講	
	日本政治史	2	後	教授	堀 真清	
	日本政治思想史	2	前	教授	梅森 直之	
	西洋政治史	2	後	教授	仲内 英三	
	政治史研究	2	前	講師	李 鎔哲	
国際関係	国際政治	2	後	教授	山本 武彦	
	国際関係	2	前	教授	都丸 潤子	
	グローバルヒストリー A	2	前	教授	平野健一郎	注 7
	グローバルヒストリー B	2	後	講師	田中 孝彦	注 7
	国際政治史 A	2	前	講師	田中 孝彦	注 8
	国際政治史 B	2	—	休	講	注 8
	現代外交	2	前	講師	山本 吉宣	
	国際法 A	2	—	休	講	注 9
	国際法 B	2	—	休	講	注 9
	国際政治思想	2	前	講師	押村 高	
	国際関係研究 A	2	—	准教授	中村 英俊	
	国際関係研究 B	2	—	休	講	
	国際政治研究	2	前	教授	山本 武彦	
公共政策	行政学	2	前	教授	縣 公一郎	
	政策過程	2	後	教授	藤井 浩司	
	自治行政	2	前	教授	寄本 勝美	注 10
	国際行政学	2	前	教授	福田 耕治	注 11
	現代行政論	2	後	教授	塚本 壽雄	
	行政学研究 A	2	—	休	講	
	行政学研究 B	2	—	休	講	
	行政法	2	後	教授	大浜 啓吉	
	比較政治制度論	2	前	教授	石田 光義	
	自治制度	2	前	講師	小原 隆治	
	公法制度研究	2	—	休	講	

注 5) 「政治学」からの名称変更。「政治学」の単位取得の場合には履修できません。

注 6) オープン教育センター設置「比較の中の中国政治」との合併授業。

注 7) 「グローバル国際関係史 I」「グローバル国際関係史 II」からの名称変更。「グローバル国際関係史 I」「グローバル国際関係史 II」の単位取得の場合には履修できません。

注 8) 「外交史 I」「外交史 II」からの名称変更。「外交史 I」「外交史 II」の単位取得の場合には履修できません。

注 9) 「国際法 I」「国際法 II」からの名称変更。「国際法 I」「国際法 II」の単位取得の場合には履修できません。

注 10) 公共経営研究科設置「自治行政研究 A」との合併授業。

注 11) 公共経営研究科設置「国際公益論」との合併授業。

(学際領域)

研究領域	科目名	単位	学期	担当教員	備考	
政治学イニシアティブ	政治学先端研究 A	2	前	講師 助教	山崎 元泰 楊 志輝	注 12
	政治学先端研究 B	2	後	講師 助教	山崎 元泰 楊 志輝	注 12
	Contemporary Politics	2	前	講師	スティーブソン・リード	注 12
	Political Theory	2	—	休	講	注 12
	Comparative Politics	2	後	講師	ベンヤミン・ミドルトン	注 12
	International Politics Economics	2	—	休	講	注 12
	Public Policy	2	—	休	講	注 12
	現代アジア研究	2	後	教授	毛里 和子	注 12

注 12) 2007 年度新設科目

政治学専門基礎科目（政治経済学部設置科目）

コース	科目名 ※（ ）内の数字は単位数を示す。
〔理論分析〕	政治学原論（4）、マス・コミュニケーション理論（4）、政治理論史（4）、憲法（4）、マス・コミュニケーション発達史（4）、計量政治学（2）、政治過程論（4）、メディア論（4）、現代政治理論（4）、政党論（4）、政治行動論（2）、立法過程論（2）
〔比較・歴史〕	比較政治学A（2）、比較政治学B（2）、政治発展論（2）、国際開発論（2）、西洋政治史（4）、日本政治史（4）、日本政治思想史（4）、地域研究概論（2）、地域研究（東アジア政治）（2）、比較歴史社会学（2）
〔国際関係〕	国際社会関係論Ⅰ（2）、国際政治史（4）、国際社会関係論Ⅱ（2）、国際政治学（4）、現代外交論（2）、国際行政学A（2）、国際行政学B（2）、国際法Ⅰ（2）、国際法Ⅱ（2）、国際機構論（4）、安全保障の研究（2）、平和研究（2）
〔公共政策〕	行政学（4）、公共政策論（4）、行政法総論（4）、福祉行政（4） 行政救済法Ⅰ（2）、行政救済法Ⅱ（2）、比較政治制度論（4）、地方自治論（4）、都市問題（2）、農村問題（2）

※シラバス、時間割、授業教室、その他授業運営に関しては、設置箇所へお問合せください。

(2)-1 ジャーナリズムコース ※2008年1月現在の予定を掲載しています。

研究指導（合同指導）

研究領域	科目名	担当	資格	備考
ジャーナリズム・メディア研究領域	ジャーナリズム・メディア研究指導	有馬哲夫	教授（社会科学学術院・兼任）	A
		伊藤 守	教授（教育総合学術院・兼任）	S
		岩渕功一	教授（国際教養学部・兼任）	S
		小林宏一	客員教授（専任）	S
		瀬川至朗	客員教授（専任）	S
		高橋恭子	客員教授（非常勤）予定	A
		谷川建司	客員教授（専任）	S
		谷藤悦史	教授	S
		花田達朗	教授（教育総合学術院・兼任）	A
		山本武利	教授	S
		リー・トンプソン	教授（スポーツ科学研究科・兼任）	A
専門研究領域	政治分野研究指導	梅森直之	教授	S
		佐藤正志	教授	S
		田中愛治	教授	S
		堀 真清	教授	S
		吉野 孝	教授	S
	国際分野研究指導	田中孝彦	教授	S
		坪井善明	教授	S
		毛里和子	教授	S
		山崎眞次	教授	S
	経済分野研究指導	西郷 浩	教授	S*
		貞廣 彰	教授	S*
		深川由起子	教授	S*
		宮島英昭	教授（商学学術院・兼任）	A
		若田部昌澄	教授	S*
	社会分野研究指導	川岸令和	教授	S
		斎藤純一	教授	S
		篠田 徹	教授（社会科学学術院・兼任）	A
		白木三秀	教授	A
	文化分野研究指導	石原千秋	教授（教育総合学術院・兼任）	A
		齊藤泰治	教授	S
		十重田裕一	教授（文学学術院・兼任）	A
		宗像和重	教授	S
		吉川泰久	教授（文学学術院・兼任）	A
和田敦彦		教授（教育総合学術院・兼任）	A	

注：備考において、SはSupervisor、AはAdviserの略。いずれの教員も、本コースにおける研究指導を担当する。専任教員については、Sは政治学研究科における研究指導を主とする教員を示し、Aは政治学研究科以外の研究科における研究指導を主とする教員を示す。なお、S*は、政治経済学術院に属する経済学研究科における研究指導を主とする教員を示す。

演習・セミナー

演習	科目名	担当
ジャーナリズム・メディア研究セミナー	(A) ジャーナリズムの使命	瀬川至朗 (コーディネーター)
	(B) メディアの世界	瀬川至朗 (コーディネーター)
	(C) 報道現場論	瀬川至朗・梅森直之 (コーディネーター)
	(D) ジャーナリズム・メディア批評	若田部昌澄・田中孝彦他
ジャーナリズム・メディア研究演習	メディア研究演習	有馬哲夫
	メディア研究演習	伊藤 守
	メディア研究演習	岩渕功一
	メディア研究演習	小林宏一
	ジャーナリズム研究演習	瀬川至朗
	メディア研究演習	谷川建司
	マスコミュニケーション研究演習	谷藤悦史
	ジャーナリズム研究演習	花田達朗
	ジャーナリズム研究演習	山本武利
	ジャーナリズム研究演習	高橋恭子
メディア研究演習	リー・トンプソン	
専門演習 (政治分野)	日本政治思想史演習	梅森直之
	政治思想史演習	佐藤正志
	現代日本政治分析演習	田中愛治
	日本政治史演習	堀 真清
	現代政治学演習	吉野 孝
専門演習 (国際分野)	国際関係史演習	田中孝彦
	地域研究演習	坪井善明
	現代アジア政治研究演習	毛里和子
	ラテンアメリカ研究演習	山崎眞次
専門演習 (経済分野)	統計学演習	西郷 浩
	日本経済論演習	貞廣 彰
	開発経済論演習	深川由起子
	現代日本経済論・経済史演習	宮島英昭
	経済学説史演習	若田部昌澄
専門演習 (社会分野)	憲法演習	川岸令和
	現代政治理論演習	斎藤純一
	労働ジャーナリズム研究演習	篠田 徹
	社会政策演習	白木三秀
専門演習 (文化分野)	中国近現代政治文化演習	齊藤泰治
	雑誌メディア演習	十重田裕一
	文芸ジャーナリズム演習	芳川泰久
	近代出版文化演習	宗像和重
	読書文化史演習	和田敦彦

学科目（予定）

科目区分		科目名	教員名	
共通基礎科目	方法論科目（ジャーナリズム）	経験的方法	データの見方	西郷 浩
			リサーチデザイン	日野愛郎
			Research Design	久保慶一
		規範理論	表現の自由の基礎理論	川岸令和
			公共の哲学	佐藤正志
			Normative Political Theory	谷澤正嗣
	知識情報リテラシー科目	論文作成入門	吉野孝	
		社会調査実習（世論）	谷口哲一郎	
		社会調査実習（マーケティング）	坂巻善生	
		情報発信実習I	前野譲二	
		情報発信実習II		
		英語ライティング（アカデミック）	M・ジュエル	
		英語プレゼンテーション（アカデミック）	A・ニューエル	
		英語リーディング入門（ジャーナリズム）	石塚雅彦	
英語ライティング入門（ジャーナリズム）	石塚雅彦			
英語ライティング実習（ジャーナリズム）	石塚雅彦			
コア理論科目	ジャーナリズム・メディア研究	Jスクール科目	ジャーナリズム論A	花田達朗
			映像ジャーナリズム論B	高橋恭子
			ジャーナリズム史	山本武利
			マス・コミュニケーション理論	谷藤悦史
			メディア史	有馬哲夫
			広告論	山本武利（コーディネーター）
			パブリック・リレーションズ	谷藤悦史（コーディネーター）
			マスメディアの法と倫理	大石泰彦
			情報法	山田健太
			知的財産権法	渋谷達紀
			情報通信政策	
			メディア文化論	伊藤守
			グローバル文化論	岩淵功一
			スポーツ表象論	リー・トンプソン
			Media Industrial Organization	中村 清
		Media Analysis (Internationa Relations)	Bukh Alexander	
		Global Communication		
		科技術ジャーナリスト養成プログラム科目	ジャーナリズム論B	大石 裕
			映像ジャーナリズム論A	森 達也
			科学技術報道史	御代川貴久夫
			科学広報・コミュニケーション論	横山広美
			メディア論	小林宏一
		メディア産業論	伊藤守・谷川建司・西村吉雄・小林宏一（以上コーディネーター）	
		政治経済学部連携科目	政治ジャーナリズムの現在	早野 透
			出版ジャーナリズムの現在	近藤大博
			放送ジャーナリズムの現在	服部孝章
			パブリック・リレーションズの現在	和田 仁
	ウェブ・ジャーナリズムの現在		佐々木俊尚	
	専門・政治分野	世論研究	谷藤悦史	
		政治コミュニケーション研究	谷藤悦史	

		政治宣伝論	山本武利
		現代日本の政治過程	田中愛治
		現代デモクラシー論	吉野孝
		日本政治史	堀 真清
		日本政治思想史	梅森直之
		政治思想史	佐藤正志
		現代政治思想	谷澤正嗣
		Japanese Politics	田中愛治
		The Fundamental Problems in Political Philosophy	飯島昇蔵
専門・国際分野		日本外交論	田中孝彦
		戦後国際関係史	田中孝彦
		国際移動論	都丸潤子
		アジア国際関係史	都丸潤子
		地域統合論	中村英俊
		現代東アジア国際関係A	毛里和子
		現代東アジア国際関係B	
		現代アジア太平洋国際関係A	坪井善明
		現代アジア太平洋国際関係B	山崎眞次
		Introduction to International Relations	田中孝彦・中村英俊・都丸潤子
専門・経済分野		ジャーナリストのための経済入門	若田部昌澄
		開発のガバナンス	深川由起子
		日本経済分析入門	貞廣 彰
		コーポレート・ガバナンス入門	宮島英昭
		Global Economics	
専門研究・社会分野		公共性とセキュリティ	齋藤純一
		憲法理論	川岸令和
		司法制度論	
		犯罪と法	
		社会保障法	菊池馨実
		社会保障制度と財政	宮島 洋
		人的資源と労働問題	白木三秀
		労働法	石田 眞
		雇用関係法	島田陽一
		労働ジャーナリズム論	篠田 徹
		消費者法	
		ジェンダー論	
		環境問題	
	Constitutional Visions in Postwar Japan	川岸令和	
専門研究・文化分野		アジア・日本文化論	齋藤泰治他
		近代出版文化研究	宗像和重
		文芸批評論	石原千秋
		読書文化史研究	和田敦彦
		文芸雑誌研究	十重田裕一
		文芸ジャーナリズム論	芳川泰久
		都市文化論	
		スポーツ文化論	
	スポーツ・ジャーナリズム論		
総合研究		ジャーナリズムとインテリジェンス	山本武利他
		メディアと検閲	山本武利他
		地球環境問題と持続可能な社会	瀬川至朗他
コア実践科目	インターンシップ		瀬川至朗
	ジャーナリズム実習	文章表現A	石原千秋
		文章表現B	坪井善明

		文章表現C	石原千秋
		文章表現D	坪井善明
		ジャーナリズムのための日本語入門	梅森直之
		ニューズルームA	木村恭子
		ニューズルームB	田勢康弘
		ニューズルームC	高野 孟
		ニューズルームD	瀬川至朗
		ニューズルームE	刀祢館正明
		Newsroom F	
		事例研究	瀬川至朗
		メディア制作実習	映像ドキュメンタリー
	ビデオ・ジャーナリズム		神保哲生
	フォト・ジャーナリズム		会田法行
	インターネット放送		小林りか・白石草
	ウェブ・ジャーナリズム		新規採用
	ノンフィクションの方法		吉田敏浩
	調査報道の方法		瀬川至朗
雑誌編集	高橋栄一		

(2)-2 科学技術ジャーナリスト養成プログラム ※2008年1月現在の予定を掲載しています。

○演習科目

科目名	単位	学期	担当教員	
ジャーナリズム論演習	2	後	教授	谷藤 悦史
ジャーナリズム論演習	2	後	教授	山本 武利
ジャーナリズム論演習	2	後	客員教授	小林 宏一
ジャーナリズム論演習	2	後	教授	花田 達朗
ジャーナリズム論演習	2	後	客員准教授	谷川 建司
ジャーナリズム論演習	2	後	教授	伊藤 守
ジャーナリズム論演習	2	後	客員教授	森 達也
科学技術論演習	2	後	客員教授	瀬川 至朗
科学技術論演習	2	後	客員教授	西村 吉雄
科学技術論演習	2	後	客員教授	若杉 なおみ
科学技術論演習(前期)	2	前	准教授	岡本 暁子
科学技術論演習(後期)	2	後	准教授	岡本 暁子
科学技術論演習	2	後	客員教授	青山 聖子
科学技術論演習	2	後	教授	内田 亮子
科学技術論演習	2	後	客員教授	小出 重幸
科学技術論演習	2	後	教授	村山 武彦
科学技術論演習	2	後	准教授	綾部 広則

○ 授業科目 (政治学研究科共通科目)

方法論科目 (ジャーナリズム)	経験的方法	データの見方	西郷 浩
		リサーチデザイン	日野愛郎
		Research Design	久保慶一
	規範理論	表現の自由の基礎理論	川岸令和
		公共の哲学	佐藤正志
		Normative Political Theory	谷澤正嗣
知識情報リテラシー科目	政治学研究科科目	論文作成入門	吉野孝
		社会調査実習 (世論)	谷口哲一郎
		社会調査実習 (マーケティング)	坂巻善生
		情報発信実習 I	前野譲二
		情報発信実習 II	
		英語ライティング (アカデミック)	M・ジュエル
	英語プレゼンテーション(アカデミック)	A・ニューエル	
	科学技術ジャーナリスト養成プログラム科目	英語リーディング入門 (ジャーナリズム)	石塚雅彦
		英語ライティング入門 (ジャーナリズム)	石塚雅彦
英語ライティング実習 (ジャーナリズム)		石塚雅彦	

ジャーナリズム・メディア研究	科学技術ジャーナリスト養成プログラム科目	ジャーナリズム論B	大石 裕
		映像ジャーナリズム論A	森 達也
		科学技術報道史	御代川貴久夫
		科学広報・コミュニケーション論	横山広美
		メディア論	小林宏一
		メディア産業論	伊藤守・谷川建司・西村吉雄・小林宏一（以上コーディネーター）
	Jスクール科目	ジャーナリズム論A	花田達朗
		映像ジャーナリズム論B	高橋恭子
		ジャーナリズム史	山本武利
		マス・コミュニケーション理論	谷藤悦史
		メディア史	有馬哲夫
		広告論	山本武利他
		パブリック・リレーションズ	
		マスメディアの法と倫理	大石泰彦
		情報法	山田健太
		知的財産権法	渋谷達紀
		情報通信政策	
		メディア文化論	伊藤守
		グローバル文化論	岩渕功一
		スポーツ表象論	リー・トンプソン
		Media Industrial Organization	中村 清
		Media Analysis (International Relations)	Bukh Alexander
	Global Communication		
	政治経済学部連携科目	政治ジャーナリズムの現在	早野 透
		出版ジャーナリズムの現在	近藤大博
		放送ジャーナリズムの現在	服部孝章
		パブリック・リレーションズの現在	和田 仁
		ウェブ・ジャーナリズムの現在	佐々木俊尚

○授業科目（科学技術ジャーナリスト養成プログラム科目）

区分	科目名	単位	学期	担当教員
基礎部門	科学技術政策	2	前	客員教授 小林 宏一 客員教授 桑原 輝隆 講師 神門 善久 講師 小林 信一 講師 中島 邦雄
	科学技術ジャーナリズム概論	2	夏季集中	(調整中)
	科学方法論	2	後	准教授 岡本 暁子
	科学史	2	前	教授 小山 慶太
	民間企業における研究開発	2	前	客員教授 西村 吉雄
	遺伝子技術概論	2	前	講師 堂前 雅史
	医療と社会	2	後	客員教授 若杉なおみ
	人類学入門	2	後	教授 内田 亮子
	Science Journalism	2	後	講師 神立 景子

イシュー領域	生命倫理	2	前	客員教授	瀬川 至朗
	情報技術と情報産業	2	後	客員教授	西村 吉雄
	環境政策と計画	2	前	教授	村山 武彦
	エネルギーと環境	2	後	講師 講師 講師 講師 講師	山田 耕 山地 憲治 北山 一美 石渡 正佳 鶴原 吉郎
	リスク管理	2	前	客員教授 講師 講師 講師 講師 教授 講師	若杉なおみ 市川 宏雄 力 利則 山田友紀子 吉田喜久雄 村山 武彦 宮坂 直史
	開発と健康ジェンダー	2	前	客員教授	若杉なおみ
	ネットワーク社会の実相	2	後	客員教授 講師 講師 講師 講師 講師	小林 宏一 萩野 正昭 佐々木俊尚 神保 哲生 松浦 晋也 湯川 鶴章
実践部門	科学コミュニケーション実習1A	2	前	講師	橋 由里香
	科学コミュニケーション実習1B	2	後	講師	大岩 ゆり
	科学コミュニケーション実習2	2	前・後	客員教授	青山 聖子
	科学コミュニケーション実習3	2	後	客員教授	小出 重幸
	科学コミュニケーション実習4	2	後	客員教授	瀬川 至朗
	メディア制作実習1A	2	前	講師	林 勝彦
	メディア制作実習1B	2	後	客員教授	森 達也
	メディア制作実習2	2	後	客員准教授	谷川 建司
	メディア制作実習3	2	前・後	客員講師	田中 幹人
インターンシップ	2	前	客員准教授	谷川 建司	
自然科学基礎知識	自然科学概論1(物理基礎)	2	前	客員講師	中村 理
	自然科学概論2(生物学研究方法論)	2	後	客員講師	田中 幹人
	自然科学概論3(地球環境学入門)	2	後	客員講師	山田 耕

政治学専門基礎科目

設置箇所	科目名 ※ () 内の数字は単位数を示す。
政治経済学部	マス・コミュニケーション理論 (4)、マス・コミュニケーション発達史 (4)、メディア論 (4)

※シラバス、時間割、授業教室、その他授業運営に関しては、設置箇所へお問合せください。

自然科学基礎知識

設置箇所	科目名 ※ () 内の数字は単位数を示す。
政治経済学部	解析学入門 (4)、解析学 (2)、線形代数 (2)、 多変数関数の解析学 (2)、微分方程式 (2)、数理統計学A (2)、数理統計学B (2) 科学概論 (2)、自然誌・生命科学I (2)、自然誌・生命科学II (2)、宇宙・地球科学 (4)
教育学部	動物の機能I (神経系、循環系) (2)、動物の機能II (ホルモンによる調節) (2)、 細胞機能の生物学(2)、宇宙の物理学I (ニュートン力学と太陽系) (2)、 宇宙の物理学II (相対論と宇宙の構造) (2)、 線形代数入門 (数理の窓から眺める線形構造と変換の世界) (2)、 微積分入門 (数理の窓から眺める現象のモデリングの世界) (2)、 確率入門 (偶然に潜む数理の世界) (2)、 統計入門 (データが語る数理の世界) (2)、 複合文化学の開拓地Ⅰ(2)、複合文化学の開拓地Ⅱ(2)、反応の化学(2)、生活環境と化学(2)

※シラバス、時間割、授業教室、その他授業運営に関しては、設置箇所へお問合せください。

(3)国際政治経済学コース ※2008年1月現在の予定を掲載しています。

研究指導(合同指導)担当教員

スーパーヴィザー (政治学研究科において主たる研究指導を担当する教員)	久米郁男
	河野 勝
	谷澤正嗣
	都丸潤子
	中村英俊
	伊東孝之
	毛里和子
	福田耕治
	新任予定

アドヴァイザー (経済学研究科において主たる研究指導を担当する教員)	清水和巳
	鈴木興太郎
	松本保美
	深川由起子
	堀口健治
	貞廣 彰
	栗山浩一
	清野一治
	秋葉弘哉
石井安憲	

主な学科目と担当教員

【演習科目】

科目名	担当名
現代政治分析演習A	河野 勝
現代政治分析演習B	河野 勝
現代日本政治分析演習A	久米 郁男
現代日本政治分析演習B	久米 郁男
現代政治理論演習A	谷澤 正嗣
現代政治理論演習B	谷澤 正嗣
比較政治演習A	伊東 孝之
比較政治演習B	伊東 孝之
国際政治演習A	中村 英俊
国際政治演習B	中村 英俊
国際関係演習A	都丸 潤子
国際関係演習B	都丸 潤子
国際機構行政演習A	福田 耕治
国際機構行政演習B	福田 耕治
未定	新規嘱任予定
未定	新規嘱任予定

科目名	担当名
政治経済学方法論基礎演習(A・B)	清水 和巳
経済政策理論基礎演習(A・B)	鈴木興太郎

経済政策理論基礎演習(A・B)	松本 保美
開発経済論基礎演習(A・B)	深川由起子
農業経済学基礎演習(A・B)	堀口 健治
数量経済政策基礎演習(A・B)	貞廣 彰
環境経済学基礎演習(A・B)	栗山 浩一
国際経済論基礎演習(A・B)	清野 一治
国際経済論基礎演習(A・B)	秋葉 弘哉
国際経済論基礎演習(A・B)	石井 安憲
政治経済学方法論応用演習(A・B)	清水 和巳
経済政策理論応用演習(A・B)	鈴木興太郎
経済政策理論応用演習(A・B)	松本 保美
開発経済論応用演習(A・B)	深川由起子
農業経済学応用演習(A・B)	堀口 健治
数量経済政策応用演習(A・B)	貞廣 彰
環境経済学応用演習(A・B)	栗山 浩一
国際経済論応用演習(A・B)	清野 一治
国際経済論応用演習(A・B)	秋葉 弘哉
国際経済論応用演習(A・B)	石井 安憲

【基礎科目】

科目名	担当名
政治学研究方法(経験)	久米郁男
政治学研究方法(規範)	齋藤純一
ミクロ経済学研究I	堀 一三
マクロ経済学研究I	堀 一三
政治学英語文献研究	都丸潤子他
政治学フランス語文献研究	押村 高他
政治学ドイツ語文献研究	伊東孝之他
政治学スペイン語文献研究	山崎眞次
政治学中国語文献研究	斉藤泰治他
経済数学研究I(線形代数)	西原健二
経済数学研究I(解析学)	井上 淳

【コア科目】

クラスター	科目名	担当名
実験政治経済学	政治行動論	田中愛治
	政治経済学A	河野 勝
	政治経済学B	久米郁男
	政治経済学方法論A	清水和巳
	政治経済学方法論B	
	ゲーム理論	船木由喜彦

	数理経済学	船木由喜彦
国際政治経済学	国際政治経済学A	
	国際政治経済学B	
	国際政治学概説	中村英俊
	国際社会関係論	都丸潤子
	比較経済制度分析	清水和巳
	国際公共経済政策	清野一治
	国際経済論研究(A・B)	秋葉弘哉
	国際経済論研究(A・B)	石井安憲
	国際経済論研究(A・B)	清野一治
	国際経済論研究(A・B)	
公共政策の政治経済学	現代政治理論	谷澤正嗣
	国際行政学	福田耕治
	公共政策	
	経済政策理論研究(A・B)	鈴木興太郎
	経済政策理論研究(A・B)	松本保美
	数量経済政策研究(A・B)	貞廣 彰
	数量経済政策研究(A・B)	上田貴子
	農業経済学研究(A・B)	堀口健治
	環境経済学研究(A・B)	栗山浩一
地域の政治経済研究	中国研究 α	毛里和子
	中国研究 β	若林正文
	中国研究 γ	
	朝鮮半島研究 α	深川由起子
	朝鮮半島研究 β	
	東南アジア研究 α	坪井善明
	東南アジア研究 β	
	ロシア研究 α	伊東 孝之
	ロシア研究 β	下斗米伸夫
	ロシア γ	
	インド研究 α	
	インド研究 β	
	現代日本の政治過程	田中愛治
	日本政治史	堀 真清
	日本政治思想史	梅森直之
	日本経済分析入門	貞廣 彰
	日本経済史	
	日本の財政	
	日本の金融	
	日本の産業政策	

早稲田大学大学院政治学研究科
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
Tel 03-3208-8534 Fax 03-3204-8975
URL <http://www.waseda.jp/seikei/seiken/>